

様式40の5の記載方法について

様式 40 の 5

データ提出開始届出書

1. 試行データ作成開始日 (※1)

令和 年 月 日

2. DPC調査事務局と常時連絡可能な担当者

事項	担当者 1 <small>(※2)</small>	担当者 2 <small>(※2)</small>
所属部署		
役職		
氏名		
電話番号		
FAX番号		
E-mail <small>(※3)</small>		

【記載上の注意】

- ※1 試行データ作成開始日には、試行データの作成を開始する月の初日を記載すること（例えば、令和4年5月20日の提出期限に合わせて本届出書を提出する場合は、作成する試行データは令和4年6月及び7月のデータとなるため、本欄には令和4年6月1日と記載する。）
- ※2 DPC対象病院又はDPC準備病院である病院の場合は、データ提出に係る連絡担当者として既にDPC調査事務局に登録している担当者と同じ者を記載すること。
- ※3 担当者は必ず2名を設定し、E-mailアドレスについては、可能な限り別々なるものを記載すること。

【届出上の注意】

- データの提出を希望する保険医療機関は、令和4年5月20日、8月22日、11月21日、令和5年2月20日、5月22日、8月21日、11月20日又は令和6年2月20日までに、本届出書について、地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。
- 様式40の5の届出を行った保険医療機関が再度本届出を行う場合は、本届出書にデータを継続的かつ適切に提出するために必要な

上記のとおり届出を行います。

令和 年 月 日

保険医療機関コード	
保険医療機関の名称	
保険医療機関の所在地	

『保険医療機関の名称』『保険医療機関の所在地住所』の記載漏れが無い
か、提出前に十分確認すること。

開設者名は厚生局に届出しているものを正しく記載すること。

開設者名

厚生労働省保険局医療課長 殿

①新規で届出を行う病院
→試行データの作成開始日を記載すること。
(例)8月22日×切の第2回目スケジュールで届出を行う場合は、試行データ作成は9月、10月の2月となるので、「令和4年9月1日」と記載する。

②新規で届出を行うDPC対象病院又はDPC準備病院
→様式40の5の届出を行う月の属する四半期の初日を記載すること。
(例)5月に届出を行う場合、4～6月分のデータを試行データと見なすため、「令和4年4月1日」と記載する。

必ず担当者を2名設定し、記載すること。なお、DPC対象病院、DPC準備病院については、すでにDPC調査事務局に登録している担当者を記載すること。

○連絡漏れを防ぐため、2名別々のE-mailアドレスを記載すること。
(ただし、個人メールアドレスがなく病院の代表アドレスしか有さない場合など、アドレスを2つ設定できない事情がある場合は、2名同じアドレスを記載しても差し支えない。)

※なお、DPC調査事務局において担当者登録が完了すると、登録完了及び配布ソフト案内のメールが各医療機関担当者あて送信される。

○様式40の5は地方厚生（支）局医療課に提出すること。
(厚生労働省に直接送付しないこと。)

○様式40の5の届出後に担当者に変更が生じた場合は、説明資料のとおり、DPC調査事務局宛て手続を行うこと。(再度様式40の5を用いて届出を行う必要はない。)

○厚生局收受印の日付により試行データ作成のタイミング(第1回～第4回)が決まることに留意すること。